

企業DATA	診療所DATA
株式会社日本地域総合診療サポート 東京都港区芝 4-5-11 芝プラザビル3階 TEL : 03-6453-8345 URL : https://jams24.co.jp	医療法人篤仁会 このまち健診クリニック東天満 大阪市北区東天満 1-1-15 TEL : 06-6948-5303

化にかかわる費用面の問題は解消され、経費節減につながるほか、紹介・逆紹介による安定経営も期待できることから、費用対効果の大きさがうかがえる。

「タスキー」が医師と患者にもたらすメリットについて、同社の北田祥人社長は次のように話す。

「患者様が受付でICカードを提示することで、医師は診察時に他院での受診記録などを確認でき、総合的な診断が行えます。医師が患者様に適切な治療を継続的に提供する『患者様ファースト』の観点から開発したシステムです」

さらに、このICカードへ電子マネーやクレジットカード機能を付加すれば、診療後の会計手続きは不要になり、患者は待ち時間などのストレスからも解消されるだろう。今年11月にはアプリ版のリリースも予定されており、利便性はさらに高まりそうだ。

また、同社では、今後の新型コロナウイルスワクチン接種の実施を想定し、「タスキー」と連動させた検査オプションのパッケージプラン「コロナワクチン接種プラン」の導入を医療機関に推奨している。抗原・抗体の有無や新型コロナウイルスの感染後の全身状態、基礎疾患



医療法人祥和会このまち健診クリニック東天満の竹内亮院長



患者は受付でICカードを提示すれば、スムーズな受診が可能に



「TASUKY」導入施設間で各種大型画像診断装置の画像データも共有可能だ

のとの関連性など、新型コロナウイルスにかかわる患者の医療情報は、すべてタスキーに記録される。

「『タスキー』に蓄積された医療情報をデータ化し、統計データや治療データなどが今後の医療の発展の一翼となることを願っています」と北田社長。地域包括ケア時代における、医師と患者のニーズをかたちにした「タスキー」の広がり期待したい。

画像検査システムと連動し早期発見・早期治療を促す

「タスキー」を導入すれば、MRIやCTなどの診断所見のみならず、画像自体の閲覧も導入施設間で自由に行えるので、専門科によ

る加療が必要な際にも、円滑な情報提供手段となり得る。

現在、開設に向け準備中の医療法人祥和会このまち健診クリニック東天満（大阪市北区）でも、最適な医療機関への紹介の選択肢を広げるべく、「タスキー」を導入、連携にも対応可能となっている。

同院では、MRI・CT・マンモグラフィ・消化管透視・上部下部消化管内視鏡・超音波・骨密度など、健康管理に必要な検査機器一式が、広々とした空間に密を避けて配置されており、受診者が圧迫感を感じることなく寛いで検

査を受診できるよう配慮されている。

また、竹内亮院長は、20年間にわたる消化器内科・内分泌内科診療の後に放射線診断専門医に転じ、受診者の健康管理や悪性腫瘍早期発見に長年携わるなど、豊富な臨床経験を有している。

いまだ新型コロナウイルスの終息を見通せず、共存を余儀なくされるなか、ハード・ソフトともに充実した同院は、受診者が安心して健康管理を委ねられる施設の一つとして、今後稼働していくものと期待される。

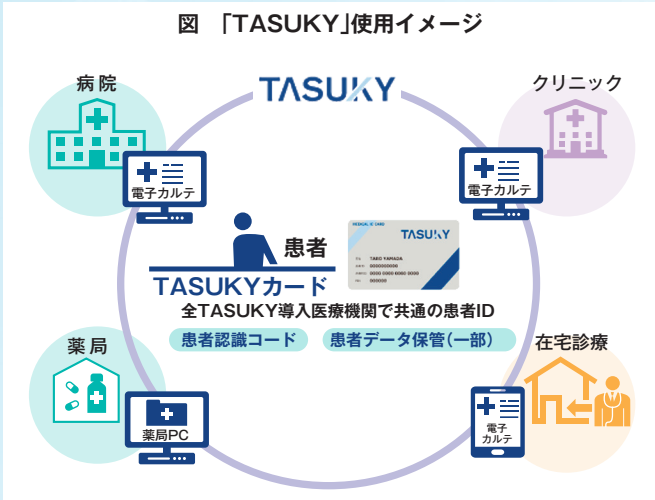


株式会社日本地域総合診療サポートの北田祥人社長

患を抱えている。このことから、複数の医療機関や診療科を受診する患者の情報を各医師で共有することは、病院連携・病診連携を円滑に進めていくためにも最重要課題であるといえるだろう。

しかし、患者情報の核となるカルテは医療機関によって形態が異なり、電子化している現場もあれば、手書きの紙ベースの現場もあるなど、玉石混交だ。院内のICT化にはコストがかかるという理由から、電子カルテの導入に踏み切れない中小病院や診療所は少なくない。また、システムが導入されていても、連携先との互換性があるとは限らない。各医療機関が効率的に患者情報を共有し地域医療連携を万全するには、さまざまな問題があるようだ。

こうした現状を鑑みた、株式会



初期導入は、専用のICカードリーダーとICカードプリンターの設置のみ。既存の院内システムとの連動はもちろんのこと、電子カルテが導入されていない場合も他の医療機関とのデータ連携を可能にする。リースプランもあり、ランニングコストは月1万円から（※通信料・ストレージ使用料は別途）と、かなりリーズナブルだ。「タスキー」の院内のICT

社日本地域総合診療サポートが開発したのが、地域医療情報連携システム「TASUKY」（以下、タスキー）である。

これは、患者が所有するICカー

ドと同社が管理するクラウドサーバを連動させることで、その患者の病態や既往歴などの医療情報を病院・診療所・調剤薬局などの複数の医療機関で共有できる総合支援サービスだ（図）。

GOOD CHOICE

株式会社日本地域総合診療サポート
地域医療情報連携システム「TASUKY」

**院内のICT化の課題を解決し
円滑な地域医療連携の実現へ**

円滑な地域医療連携を構築するためにも、病院・診療所・調剤薬局などが患者の医療情報を共有できるシステムの整備が喫緊の課題といえる。患者の利便性を追求した理想の地域医療連携を低コストで実現可能にした、医療連携総合支援サービス「TASUKY」を紹介する。

（撮影＝木村哲也）

